

日本点字事情 かわら版

横浜市立盲学校
点字研究部

2002年3月18日発行 NO.45

文責 道村静江

「日本点字表記法2001年版」改訂内容解説8

13. 読点や中点の扱い

<表記法 第4章 第1節 3.【注意1】【注意2】p51～43>

<表記法 第5章 第4節 4. p114>

中点の使い方について、第5章第4節の「点字化のための配慮」で次のように説明しています。

「墨字では、中点がさまざまな用途に使われているが、点字で中点を多用すると読みにくくなるので、最低限必要なところにとどめることが必要である。」特に、語句の切れ目を明らかにするために用いられている中点などは、マスあけに替えた方がよい場合も多くあります。

また、実際に読点や中点を墨字通りに点訳すると、読みにくさだけでなく、間違った表記になる場合もあるので、注意が必要です。それは、第4章第1節3.に書かれています。

本則で「重ね数字や略称を表すアルファベットの間では、中点を用いない。また、外来語の複合内部の切れ続きを表している墨字の読点や中点は、点字では原則として用いない。」とあるのは今まで通りです。日付の略記などで、墨字では3.19のように書かれてあるものを自動点訳ソフトなどにかけて ⠠⠨⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ と中点を使用したようにみえますが、これは の点の小数点になっていて明らかに間違いです。 ⠠⠨⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ のように重ね数字を使います。

同じように読点や中点をそのまま使うことによって紛らわしくなる例が出てくるので、その辺りを【注意1】【注意2】に書いています。

【注意1】化学式などでの注意です。

NO₂、SO₃、などは ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ □ □ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ □ ナドワ

化学式の分子式の数字は下がり数字を使用しています。そこに読点を使うと2と紛らわしくなるので、マスあけに替えます。中点は化学式特有の区切りになる。

【注意2】英数字列を区切るような場合での注意

問い A・B トイ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ □ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

外文字、大文字、マスあけなどで区切りが明確なので省略します。

【注意3】また、読点が他の記号と連続する場合などにも注意が必要です。

<表記法 第4章 第5節 2. p73>

「それでは、」と言った。 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ソレデワ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ト □ イッタ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠

読点とカギが続くとふたえカギになってしまうなど、他の記号と紛らわしくなるようなときは省略することができます。

